

水郷のまち

第22号

平成28年1月15日発行

編集・発行

公益社団法人

柳川市シルバー人材センター

柳川市東魚屋町17番地3

TEL 73-4585 FAX 73-4515

会員 男性 356名 女性 183名

計 539名

(平成27年12月1日現在)

# シルバー やながわ



平成27年11月21日、22日柳川よかもんまつり出店風景

## 会員募集・仕事募集

市内在住で60歳以上の方  
(植木剪定、草刈、除草、清掃、家事  
援助、子育て等の働く意欲のある方)

毎月10日・20日

柳川市シルバー人材センターにて  
10時から入会説明会開催。  
(土・日・祝日の場合変更)

## シルバー人材センター理念

- 自主** 自分のものとして考え
- 自立** 自分たちの力で育てる
- 共働** 一緒になって働く
- 共助** 互いに助け合う

# 新年の挨拶



理事長 近藤 善彦



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様及び会員の皆様におかれましては、お健やかに初春をお迎えることと心からお慶び申し上げます。

柳川市シルバー人材センターは、平成二十四年四月に公益社団法人に移行し、公益事業者として、地域社会から評価していただけるセンターを目指しております。

平成二十七年二月の国会におきまして、安倍首相は施政方針演説で「柔軟かつ多様な働き方」の中で「高齢者の皆さんに多様な就業の機会を提供するシルバー人材センターには、更にその機能を発揮してもらいませう」という歴代内閣として初めてシルバー人材センターに触れられました。これは、まさに日本の成長戦略を進めていく上で、シルバー人材センターが持っている役割や可能性に期待が寄せられたものと考えております。

センターでは、会員の就業機会の拡大を図るため本年度から会員派遣事業に取り組んでおります。さらに、地域貢献を積極的に展開するため新たな事業として「ふるさと見守り安心サポート」「親孝行お手伝いサービス」に取り組んでおります。

今後とも、シルバー人材センターが幅広い分野で活躍し、高齢化社会の「担い手」として地域社会にとってかけがえのない存在になるよう努めてまいりますので、会員・市民の皆様の温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。

会員の就業にあたりましては、シルバーの基本であります「安全はすべてに優先する」このことを肝に銘じ、組織をあげて事故ゼロを目指し取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりますが、会員相互の融和と親睦を一層深め、市民の皆様に満足していただけるセンターとして、更なる躍進の年になることを祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

◎役員一同、本年も宜しくお願い申し上げます。

理事長	近藤 善彦	理事	小宮 大吉
副理事長	荻島 善彦	理事	野口 征治
常務理事	高田 淳治	理事	竹井 澄子
理事	田中 義行	理事	成清 三文
理事	辻 義雄	理事	成清 博茂
理事	大橋 一美	監事	古賀 和明
理事	山口 義行	監事	本木 芳夫
理事	甲斐田 園一		

## 役員視察研修（福津市SC）に 参加して

理事 小宮 大吉

平成二十七年九月十四日理事長他役員で福津市シルバー人材センターを訪問しました。福津市シルバー人材センターは、平成十七年に福岡町と津屋崎町のシルバー人材センターが合併し会員数が五〇二名、平均年齢は七〇・九歳になります。

今回、福津市シルバー人材センターを訪問したのは、今年の四月から本格的に取り組み始めたシルバー派遣事業に、早くから力を入れていたのが福津市シルバー人材センターであり、その取り組みや派遣の内容等を参考にするためでした。

既存の契約内容を見直すことによつて派遣契約に切り替えたり、新規で派遣先を開拓するのは一朝一夕ではいかないところもあったようですが、シルバー派遣事業のメリット（人件費の安さや臨時的短期的な人手不足に対応できる等）を生かして年々派遣契約の件数及び金額を増やしたとのことでした。当センターにおいても徐々にではありますが契約件数も増えてきてますので、発注者や会員のニーズにこたえられるように日々の業務に生かしていきたいと思えます。



福津市シルバー人材センター視察風景

## 安全適正就業委員会視察研修 （菊池市SC）に参加して

理事 山口 義行

去る、平成二十七年九月七日、安全適正就業委員会にて視察研修に参りました。その目的は、菊池市SCでは、平成二十七年九月現在、今年度は就業中の事故がゼロの実績を継続しており、その取り組みを参考にするためでした。菊池市SCは会員数が三九七名、平均年齢は、七〇・五歳になります。取り組みとしては、①毎朝就業会員全員がセンターに集合して、作業内容の確認等をした後、作業現場へ出発する②安全委員会の安全パトロール時に職員も同行し、不安全行為があればその場で注意し、後日文書で班長に渡す③確実な安全保護具の着装（ヘルメットや安全ベルト、保護メガネ等）④事故防止対策の徹底（作業開始前の現場確認や防護ネットをきちんと張る）⑤賠償事故ペナルティ制度の創設（事故を起こした者にペナルティを課す）の五つでした。

当センターでもすでに行っているものもありましたが、結果に結びついていないので、会員各自の意識を高め、安全就業に取り組んでいきたいと考えております。



菊池市シルバー人材センター視察風景

## ●柳川市シルバー人材センター奉仕清掃活動

平成27年10月24日(出)午前9時より、毎年恒例の柳川市シルバー人材センターの奉仕清掃活動を行いました。柳川、三橋、大和地区において作業場所を決め、それぞれの地区の会員が積極的に参加されました。今後もシルバーの活動を通じて、地域社会へ貢献していく所存です。

区 分	柳川地区	三橋地区	大和地区
作業場所	かんぼの宿北側 出逢い橋 からたち文人 足の湯 } 周辺	三橋庁舎 三橋公民館 図書館 体育センター } 周辺	大和庁舎 大和公民館 庁舎南側遊歩道 芝原水辺公園 } 周辺
参加人数	88名	44名	39名



## 平成27年度安全就業促進大会

平成27年10月10日(出)午前9時から柳川総合保健福祉センター「水の郷」大ホールにて、会員が一同に集まり安全意識の向上をはかる為、昨年に引き続き平成27年度安全就業促進大会を開催し、約200名の会員が参加しました。安全就業促進大会は、開会の言葉で始まり、近藤善彦理事長、辻義雄安全就業委員長の挨拶、来賓紹介と金子健次市長から祝辞を頂きました。来賓祝辞後、第1部として柳川警察署交通課佐藤秀憲交通総務係長から「高齢者の交通事故 防止対策について」の講演やDVDによる説明を受け、改めて安全に関する注意喚起を行いました。続いて、第2部として下塩塚忠太郎一座による公演「一本刀土俵入～駒形茂兵衛 涙の恩返し～」を楽しく鑑賞しました。全ての講演等が終了し、安全就業宣言文が参加会員より採択され、会場いっばいに鳴り響くほど、声高らかな唱和を行い、大会を閉会しました。

### 平成27年度 全国統一安全就業スローガン

「ゼロ災害 みんなの誓い みんなの願い」



◎事業拡大要請で柳川市長訪問

平成二十七年十月二十日（火）、柳川市シルバー人材センター理事長、副理事長、常務理事、事業推進委員長、総務委員長、安全委員長、職員の七名で金子健次市長を訪問し、シルバー人材センターの現状及び今後の展望を伝え、更なる発展に向けての要請文をお渡ししました。



近藤理事長挨拶  
(新事業「高齢者ささえ愛」の開始やシルバー人材センターの現状を報告)



近藤理事長から金子健次市長へ事業拡大要請文が手渡されました。



◎柳川よかもんまつりに出店

平成二十七年十一月二十一日（土）、二十二日（日）柳川市シルバー人材センターは、第十一回柳川よかもんまつりに参加しました。さげもん、小物、まり、ソフトクリーム、ポップコーンの販売、しめ縄の予約、刃物研ぎ、輪ゴムでの腕輪づくりの講習を行いました。今年は、気候に恵まれ会員の皆様にも協力頂き、沢山のお客様に喜んで頂きました。

輪ゴムでの腕輪づくり講習



さげもん、小物、まり、ソフトクリーム、ポップコーンの販売。しめ縄の予約、刃物研ぎを実施

刃物研ぎ



◎柳川市シルバー人材センターでは、市民の皆様や会員の技術向上の為に講習会を行いました。



7月15日、29日 育児支援講習



6月17日 布団乾燥講習



8月20日 家事援助研修会



7月22日 草刈機安全取扱講習会



9月15日 植木剪定講習会



9月7日 EM廃油石鹸づくり



10月17日、18日 RKBフェスタ出店

柳川市



10月7日、14日 手芸講習会

「会員のひろば」

# さげもん作り・ まり作りに魅せられて

会員 妻夫木 久子 つまぶき

私が、シルバー人材センターに入会したきっかけは、仕事を定年退職して「何も習い事を身に付けていない」と近所の方に話したら「家でまり作りをしているので一緒に作りませんか」と誘って頂き、早速毎日のように習いに行きました。

一個一個出来るのが楽しみで、十個二十個と出来ていきました。そうしている内にシルバー人材センターの手芸同好会のことを聞き、即入会しました。同好会では、月に一回さげもん作り、まり作りの講習会があつてとても楽しみです。

又、毎年一月下旬に開催される展示即売会には、さげもんやまり、人形類等たくさん出品されて、県内外から初節句にと購入して頂きます。

春の柳川さげもんめぐりの開催期間中にも、手芸同好会は約四十日間販売し、九州内外から沢山のお客様に来て頂きます。

いろんな方と出合つて様々な話を聞かせていただき、人々との出会いも楽しみです。私の唯一の趣味になったさげもん作りを今後も続けたいと思います。



## 沖端の歴史の深さに触れる

会員 横山 正司 まさし

現役時代、会社の経営基本方針の一つが「地域密着して社会に貢献する」とでした。このことについてはしっかり肝に命じています。

定年退職後早いもので十四年が経過し、いよいよ後期高齢者の仲間入りです。人生の仕上げの一環として少しでも世の恩返しに、民生委員・児童委員の傍ら大好きな郷土歴史の研究に取り組んで目下まい進中です。そこで、文化の宝庫である地元沖端の歴史を掘り起こし、地域住民の豊かな生活づくり等、郷土のよさを知っていただく為、又、子供・孫など後世に伝授することを目的として、約五年前より矢留公民館主催で歴史文化講座を開講中です。高齢化と同時に頭の回転が鈍化の現況ですが、老骨に鞭打つて講師をしながら皆さんと日々勉強中です。

お陰様で回を重ねるごとに、受講者の皆さんが非常に熱心さを増し、資料作成の苦勞も吹き飛んでしまします。

今後も健康管理に留意し残る人生を大切に、尚一層精励したいと思します。



## 配分金の確定申告について

シルバー人材センターは、仕事を請負い、又は委任の形式で受託し、会員に就業を依頼している関係から雇用関係は成立しません。従って就業による収入は、賃金にならないので、会員の所得税は自己申告となっています。

シルバー人材センター会員の配分金については、所得税法上雑所得となり、他の所得とは別に65万円まで控除されます。よって、配分金の支払総額が、年間65万円を超える方は確定申告をする必要があります。会員の方には、センターから「平成27年配分金支払証明書」をお届けいたしますので、確定申告をして下さい。

※その他収入がある場合、内容により異なりますので、詳しくは最寄りの税務署へお問い合わせ下さい。

### ●高齢者ささえ愛

※ふるさとから遠くにお住まいの方、  
親御さんと離れて暮らされる方へ

新事業

H.27.9.9より開始

## ふるさと見守り安心サポート

柳川市内の空き家  
空き地の見回り



月1回程度の巡回

不法侵入、不法投棄、  
屋内外の状況確認

現状写真の送付

※巡回1回につき1,000円（写真送料込）  
なお、剪定、除草、清掃作業等は別途  
お見積りとなります。

ご先祖のお墓のお世話



2坪以内の墓地で  
2時間程度の作業

お墓（1基）、小物水洗い

現況及び作業確認写真の送付

※基本1人2時間1,500円～（写真送料込）  
なお、剪定、除草、清掃作業等は別途お見  
積りとなります。

## 親孝行お手伝いサービス

日常生活支援（家事援助等）

安否確認（ご家族へ報告）

情報伝達

（親子双方に対する伝達、写真送付等のお手伝い）

◎料金体系 お手伝いサービス1回につき2時間程度  
1,800円～3,500円（写真送料込み）



親御さんの現在の状況が  
わかります！



◎ご依頼方法 お電話（73-4585）又は、ホームページからの申込用紙を使用し  
FAX（73-4515）、メールでお願いします。

中華・うなぎめし・和食  
鉢盛・弁当・もつ鍋・焼き鳥

(有)柳川よし



柳川市隅町 72-30 TEL 72-0402

ホームページ yanagawa-yoshi.com

営業時間 11:00 ~ 22:00 ※オーダーストップ 22:00

ランチ 11:00 ~ 14:00 ※平日のみ

シルバー会員  
仕事募集

伝統と伝承  
初節句のお祝いに。



さげもん展示即売会

1月30日(土)・31日(日)10時から16時

柳川市本町53-1 柳川市民体育館にて

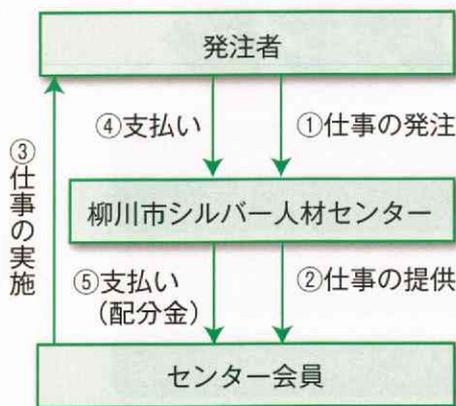


広告協賛ありがとうございました。

## シルバー派遣事業について ※平成27年4月より本格開始

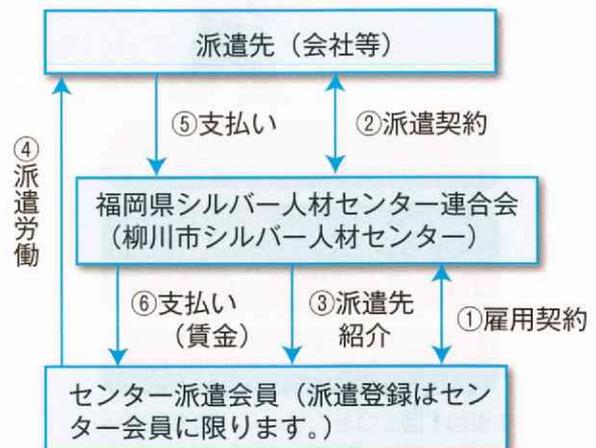
平成27年4月より当センターにおいて、本格的にシルバー派遣事業を開始しました。今までは、請負・委任のみで受注できなかった混在作業や指揮・命令系統がある仕事も可能となります。

### ●請負・委任



- ・ 臨時的かつ短期的な就業やその他の軽易な作業
- ・ 事故発生時は シルバー保険 に対応
- ・ 指揮命令を受けたり、混在作業は できない
- ・ 報酬は 配分金としてセンターから振り込み

### ●シルバー派遣



- ・ 臨時的かつ短期的な就業やその他の軽易な作業
- ・ 事故発生時は 労災 に対応
- ・ 指揮命令の下、職員と混在作業が できる
- ・ 報酬は 賃金として県連合から振り込み



編集委員一同

勉強しながら巡回していると一日  
がいつのまにか過ぎてしまいました。

この日は、蒲池地区を巡回しまし  
た。蒲池地区は、立石村と蒲池村が  
合併して、新しく誕生したそうです。  
当時は、立石尋常高等小学校や蒲  
池尋常高等小学校があったそうです  
が現在では面影もありません。戦後、  
現在の蒲池小学校・中学校が新設さ  
れて、昭和三十年に、昭代村と共に  
合併され柳川市となりました。

編集後記

当センター恒例の普及啓発活動で  
広報車にて巡回中、大変ありがたい  
ことに、畑仕事に手を振り会釈を  
して下さる高齢者の方や笑顔で挨拶  
をして下さる方にお会いすると心も  
晴々と和みます。